

特定非営利活動法人アートコラルきくがわ

令和4年度 事業報告

令和4年4月1日～令和5年3月31日

NPO 法人アートコラルきくがわ



ホームページ : <https://www.ackikugawa.net/>

フェイスブック https://www.facebook.com/artchoral/?locale=ja_JP

特定非営利活動法人アートコラールきくがわ

令和4年度 事業報告

令和4年4月1日～令和5年3月31日

1. 事業成果

「出会いとつながりをデザイン！」をモットーに、NPO・行政・学校・企業などをつなぎ、それぞれの活動を広げるための身近なコーディネーター・相談役として、地域活動の活性化に寄与した。また、菊川市役所庁舎東館「プラザきくがわ」を当法人の活動の拠点とし、様々なイベント開催を支援することで、まちの賑わい創出や高校生等の若者の活躍の場の提供に繋げた。

(1) 中間支援事業

市民活動の相互連携のコーディネーターとして、地域活動を展開する NPO・行政・学校・企業などに積極的に関わり、協働を推進した。主に菊川市市民協働センターを受託・

運営する中で、市民活動に関する相談や団体設立の支援をはじめ、各種講座やセミナーの開催、広報紙やホームページにより事業や団体紹介等の情報発信を行った。

一方で、コロナ禍における地域活動の衰退が懸念され、住みよい地域づくりの実現・持続化を図るため、コミュニティ協議会と NPO や高校生を繋げ、新たな地域コミュニティ活性化モデル事業にも取り組んだ。

(2) 芸術文化支援事業

まち×人×アートプロジェクトでは、高校生が地域の人たちと交流を深めながら、表現力や発想力、豊かな感性を発揮した。アートの持つチカラで、多くの人に感動と喜びをもたらし、賑わいの創出に繋げた。

また、菊川市に住む外国籍の子どもたちが多く参加する企画を打ち出し、アートをルーツに多様な人が交わるきっかけづくりとなった。

(3) まちづくりネットワーク事業

中間支援・アートを活用した支援団体として、これまでの取り組みで培った、ネットワークや経験を活かし、中東遠地域をはじめ県内各地において広く、協働のコーディネーターとしての役割を果たした。また、菊川市から新規で受託事業した賑わいづくり事業では、地域特産の茶産業のイメージアップ・知名度向上に寄与するなど、新たな風を吹き込むきっかけをつくった。

2. 実施概要

(1) 中間支援事業

① 菊川市市民協働センター受託事業

多様な主体をつなぐコーディネート

市民協働センターを協働の中間支援機能の中心に位置づけ、その機能を充実することにより多様な主体間をつないだ。

市民協働センターと他の関係機関等との交流の活性化

開催日：令和5年2月27日（月）

会 場：菊川市市民協働センター

参加者：9人

市民協働センター、社会福祉協議会、
菊川市役所地域支援課・社会教育課・長寿介護課

概 要：市民の公益的な活動をサポートするボランティア活動支援センター（市民協働センター、社会福祉協議会ボランティアセンター、教育委員会ボランティアセンター等）の連絡会に参加した。また、連絡会の開催以降もそれぞれのセンターが実施する事業等について、情報共有や意見交換を行い、連絡強化を図っている。

市民活動団体交流会「きくせん交流会①」の開催

開催日：令和4年12月3日（土）

会 場：プラザきくろ3階会議室

対 象：市民協働センター登録団体

参加者：20団体 25人

概 要：菊川市1%地域づくり活動審査会の終了後に実施。

センター登録団体の様々な分野の市民活動団体が集まって、団体の紹介や日ごろ困っている課題や、活動概要等についての情報交換を行った。それぞれの活動を知ることと、互いに関心を持ち、社会課題の共有やつながりを深める場となった。



市民活動団体交流会「きくせん交流会②」の開催

開催日：令和4年3月18日（土）

会 場：プラザきくる3階会議室

対 象：市民協働センター登録団体

参加者：12団体＋市民（交通指導員）24人

概 要：菊川市1%地域づくり活動報告会の終了後に実施。

センター登録団体の様々な分野の市民活動団体が集まって、団体の紹介や日ごろ困っている課題や、活動概要等についての情報交換を行った。それぞれの活動を知ること
で、互に関心を持ち、社会課題の共有やつながりを深める場となった。



ランチミーティングの開催

開催日：令和4年4月1日、6月1日、8月1日、10月3日、12月2日

原則として偶数月の1日開催

会 場：菊川市市民協働センター（会場及びオンライン）

対 象：一般

参加者：延べ37人

概 要：地域のことに関心があり、誰かとつながりたい人や活動をPRしたい人が気軽に集まり、
楽しく交流を図った。8月は感染症対策としてオンライン等も活用しながら交流の機会を創出し、連携のきっかけづくりにもつながった。



夕暮れカフェの開催

開催日：令和4年5月9日、7月1日、9月1日、令和5年1月10日、3月1日

原則として奇数月の1日開催

会 場：菊川市市民協働センター

対 象：一般

参加者：延べ63人

ゲスト：5月 日本ギャップイヤー協会 ナヤ友里佳さん

6月 NPO法人うまのあと 小林雅幸さん

9月 菊川文化会館アエル 小林裕美さん

1月 菊田千秋さん、熊谷葉子さん

3月 JICA海外協力隊OB 鈴木貫司さん

概 要：参加者一人ひとりが自分の職業や関心を持っていること、参加した理由などを紹介した。また、毎回様々な分野で活躍するゲストスピーカーを招き、地域活動や職業で得た知識や経験を分かりやすく参加者に伝えた。



地域おこし協力隊活動報告会

開催日：令和5年3月23日（木）

会 場：プラザきくる2階 多目的エリア

参加者：35人

概 要：菊川市の地域おこし協力隊の大山智世さんと関わりを持って活動していた人たちが、報告会に参加し、交流した。最初に、菊川市で地域おこし協力隊の約2年間の活動報告があったあとに、参加者同士で感想を共有し、会場からの質問に答えた。また、菊川の魅力や地域活動をテーマに参加者同士が意見交換をし、今後の活動の発展や自らができることを考える機会となった。



ひろまちコラボ開催のサポート

開催日：毎月第2火曜日

会 場：きくる広場～JR菊川駅周辺

参加者：市民、市民活動団体、金融機関、企業等の有志、地域おこし協力隊など

概 要：ひろまちコラボは、“ごみ”を“ひろう”ことにより“まち”を広げることをテーマに毎月1回早朝30分の活動。ゴミ拾いをしながらの様々な団体や企業等が交流を深め、定期的に行なうことで、地方銀行、信用金庫等のCSRとして定着してきた。センター登録団体きくがわ未来会議が主催する事業を全面サポートしている。



企業のCSR活動等の相談対応

実施日：年間を通して

会 場：菊川市市民協働センター

参加者：企業、市民活動団体、行政等

概 要：地域での活動を考える企業からの相談に、当NPO会員の専門家やCSRリーダーの認定者が応じ、大手企業や地元企業など様々な企業の地域での活動のきっかけや他の機関との連携につなげた。

相談件数：9件

相談後の事例

8月2日、菊川文化会館アエル、「常葉菊川中高校生と学ぶこども科学教室with日東工業」を実施。市内外の小学生およそ40人が参加し、常葉大学附属菊川中・高等学校自然科学部の生徒およそ30人と日東工業株式会社の社員5人が講師となり、「スライム作り」や「つかめる水」など6種類の科学実験のブースを設け、さまざまな実験を通じて科学の面白さを伝えた。



地域コミュニティ活性化事業① 地域コミュニティの状況把握

実施期間：令和4年8月10日～9月15日

対 象：コミュニティ協議会役員・事務局等

会 場：菊川市内地区センター 11ヶ所

概 要：地域コミュニティが希薄化する中、市内11地区のコミュニティ協議会の訪問を行い、地域の現状や課題を把握した。地域づくりの核となるコミュニティ協議会は役員の高齢化、なり手不足によりイベントのマンネリ化やコロナ禍において事業の縮小や地域住民の協力体制の欠如が余儀なくされている。訪問をきっかけに、コミュニティ協議会が行うイベントに、市民協働センターがコーディネートし、高校生や大学生などの若い世代が積極的に関わることにつながった。



地域コミュニティ活性化事業② 講演会「地域づくりの土台という視点」

開催日：令和4年12月10日(土)

対 象：コミュニティ協議会役員・事務局、地域活動に関心のある人

会 場：市役所庁舎東館3階会議室

講 師：小田圭介氏（総務省地域創造アドバイザー・静岡県地域づくりアドバイザー）

概 要：地域活性化とは日常が幸せになるで、そのためには、将来の担い手が小中学生のころから「個」と「個」のつながりを構築し、長期にわたり関係を構築していく必要性を学んだ。



地域コミュニティ活性化事業③ NPOと地域コミュニティをつなげる取り組み

実施日：令和4年3月4日(土)

参加者：小学生と保護者やボランティアの高校生・大学生等 32人

会場：みなみやま会館 芝生広場

講師：team439 代表 防災士 宇佐美竜一氏

概要：新しい生活様式に即したモデルイベントとして、地域づくりを進めるコミュニティ協議会と活動分野において専門性を持つ地域活動団体（NPO）と連携したイベントとして開催。防災訓練など地域の行事に参加が難しい子育て世代を中心に参加者を募集し、災害に備えたテント張り、ロープワークなどを行った。



協働の担い手支援

協働による地域づくりを進めていくためには、その担い手が活動を継続・発展できる場が必要である。協働の担い手の基盤強化や活動の支援につながる取り組みを進めた。

市民活動スキルアップ講座①「クラファン成功セミナー」

開催日：令和4年4月12日（火）

会場：プラザきくる多目的エリア

講師：ヴィアナ沙織 氏（取材率アップルコンサルタント）

参加者：16人 社会課題に取り組む公益性の高い活動をしている団体

概要：元マスコミの講師からクラウドファンディングを成功に導く効果的な手法について学んだ。

- (1) 講義「クラファン成功セミナー」
- (2) ワークショップ「実際にプレスリリースを書いてみよう」
- (3) 講師からのアドバイス



市民活動スキルアップ講座②「体験型ファシリテーション入門講座」

開催日：令和4年5月22日（日）

会 場：市役所庁舎東館3階会議室

講 師：土肥 潤也 氏（一般社団法人トリナス 代表理事）

参加者：18人

概 要：昨年度に引き続き、話し合いを促進したり調整したりする技法であるファシリテーションについて体験しながら学ぶ講座。ファシリテーションのスキルとして文字と絵を使いその場で話し合いを記録・可視化するグラフィック・レコーディングを体験しながら学んだ。



市民活動スキルアップ講座③「ゲーム体験から対話で考える2030 SDGs」

開催日：令和4年8月7日（日）

会 場：市役所庁舎東館3階会議室

講 師：佐々木幸雄 氏（一般社団法人ローカルSDGs代表理事）

参加者：24人

概 要：カードゲームを体験しながら持続可能な開発目標（SDGs）の本質を理解してもらう講座。なぜ必要か、どんな変化や可能性があるのかについて学んだ。日常で取り入れられているSDGsや海外の取り組みなどの紹介の後、2人1組でゲームを体験し、感じたことや意識したことをグループで共有した。



コミュニティ協議会 懇話会

開催日：令和5年3月10日（金）

会 場：プラザきくろ3階会議室

参加者：26人（市内11地区コミュニティ協議会役員）

概 要：先進事例紹介や情報交換を通じ、各地区コミュニティ協議会のスキルアップや、連携のきっかけづくりを目的に開催した。個人で解決することが困難な問題が増加している中、地域でお互いに協力し、助け合う組織づくりを進めるため、意思決定や対話の場づくりなど団体の運営に関する講座の開催や情報交換会等を行った。また、NPO法人の専門性とコミュニティ協議会の広域性等、互いの特質を知り、協働のきっかけづくりを行った。



常設的な相談窓口の設置・開設

開催日：年間を通して

会 場：菊川市市民協働センター

対 象：市民、市民活動団体、行政、学校企業

対 応：市民協働センタースタッフ

相談数 634件

NPO促進法に基づく事務手続き等の相談対応：相談数20件

概 要：団体運営で生じる様々な問題に対応するための常設の相談窓口を設置。地域活動のはじめの一步の後押しをはじめ、団体設立、助成金の申請支援、NPO法促進事務に関する手続き、団体間の連携や学校、企業や行政からの様々な相談に応じた。

専門家相談会の開催

概 要：市民活動団体からの経営や資金確保、労務管理等、専門的な相談に対応するため、当NPOの会員が、団体のニーズにあわせた専門的な相談もプロボノとして実施した。

***行政書士NPO相談会**

開催日：不定期

会 場：菊川市市民協働センター

対 象：主に市内NPO法人、

専門家：行政書士 滝井浩平氏

***税理士NPO相談会**

開催日：不定期 4月26日

会 場：菊川市市民協働センター、市内NPO法人の事業所

対 象：主に市内NPO法人

専門家：税理士・中小企業診断士 杉山重人氏

*ソーシャルビジネス相談会

開催日：不定期 5月26日、9月15日・16日

会 場：菊川市市民協働センター

対 象：ソーシャルビジネスに関心のある市民、市民活動団体等

専門家：ソーシャルビジネスアドバイザー 川端務夢氏



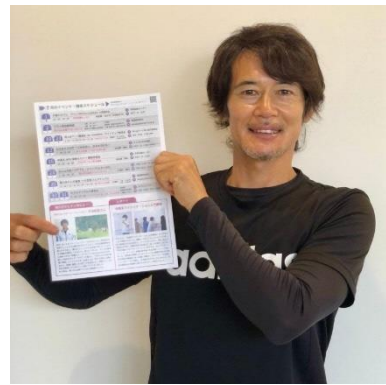
情報紙の発行 センター広報紙「きくせん通信」

発 行：毎月1回 第3木曜日

配 布：毎回2,000部発行、市内自治会回覧、公共施設等に配架。

市民協働センター主催の講座やセンター来館者に配布。

概 要：多くの市民に地域活動に関心を持ってもらうため、市民協働センター主催のセミナー・イベント特集をはじめ、プラザきく周辺の賑わい事業の紹介、市民活動団体のイベント案内、菊川で活躍中のひとのインタビュー等を掲載した。



ホームページやSNS等による情報発信

実施日：年間を通して

情報発信数：市民協働センター フェイスブック216件

ホームページ更新14件

概 要：市民活動団体や社会貢献に関する情報を広く発信することで、市の魅力等につなげるため、情報発信を行った。また、多目的エリアの利用方法や市民活動団体のイベント・セミナー

情報・報告などを配信するインスタグラムを開設し、特にフェイスブックの利用率の低い、高校生等への登録促進を図っている。

菊川市市民協働センターホームページ <https://www.kikucen.net/>

協働への参画機会の拡充

協働の取り組みを活性化するため、組織や活動の形態に関わらず、多くの市民が地域のこと自分事として考え、地域活動に一步踏み出すことができるよう、活動のきっかけづくりや活動の場の拡充を図った。

市民協働人材育成講座

きくがわ未来塾

開催日：令和4年6月7日、6月23日、7月7日、8月4日、9月8日

会場：市役所庁舎東館3階会議室

講師：飯倉清太氏（NPO法人サプライズ代表理事・静岡県地域づくりアドバイザー）

参加者：18人 最終報告会45人

概要：第1回：オリエンテーション 未来塾とは？

第2回：個人企画発表&チーム分け

第3回：チームディスカッション

第4回：プレプレゼンテーション、企画のブラッシュアップ

第5回：最終報告会 公開プレゼンテーション

菊川市の地域課題の解決や魅力発信のため、市民の自発的・積極的な活動への参加啓発を図るとともに、新たに市民活動に取り組むことができる人材を育成するための講座を開催した。参加者が個々に考えたアイデアを発表し、共感できるテーマについてチームを作り、課題から仮説と目標を立て、その理由や背景を基に、十財に実現可能なプロジェクトを具体化していった。最終報告会では賑わいづくり研究会メンバーなど45人の来場者に対し、チームで考えたプロジェクトを発表した。

【受講生(塾生)が発表したプロジェクト】

- ① 育てる草刈りプロジェクト
- ② ほめ言葉と笑顔の다가し屋
- ③ WeII-being HITSURUGI
- ④ 人と人が繋がる場所づくり
- ⑤ きくがわ全市民ヒーロー化計画



きくがわ高校生まちづくりスクール

開催日：令和4年6月26日、7月31日、8月28日、9月25日、11月10日

会場：プラザきくろ3階会議室

講師：土肥 潤也氏（NPO法人わかもののまち）

参加者：高校生17人・サポーター7人

- 概要：第1回：自分を発見しよう！チーム作り
第2回：市内NPOへのインターシップ
第3回：まちづくりってなに？
第4回：中間報告会
第5回：マイプロジェクト会議
第6回：最終報告会

高校生の企画やアイデアをまちづくりに生かすため、高校生が主体的にまちづくりに参加する機会として開催。全5回の講座のなかで、関心のあるテーマごとにチームを組み、市内で地域課題に取り組むNPOでインターンシップとして体験を体験しながら、実現可能なプロジェクトを検討し、公開プレゼンテーションで発表し実践していく。

【高校生が発表したプロジェクト】

- ① 若者の農業人口を増やすには？
- ② 高齢者と子ども、子育て世代の交流の場づくり
- ③ 商店街の活性化
- ④ 豊かなコミュニケーション能力を養う
- ⑤ 公園を活性化しよう
- ⑥ 外国人と日本人の結びつきが強い菊川市
- ⑦ 来たくなるようなまち・居たいと思えるまち



わかもののまち菊川キックオフイベント

- 開催日：令和5年2月23日(木・祝)
会場：プラザきくる3階会議室
登壇者：土肥潤也氏（NPO法人わかもののまち）
笠原活世、鈴木貫司（菊川市市民協働センター）
小杉晋也氏（常葉大学附属菊川高等学校）
落合奏楽さん、柳沢綺星さん（きくがわ高校生まちづくりスクール修了生）
参加者：45人(会場・オンライン)

概要：来年度11月に行われる「わかもののまちサミット菊川」の開催に向け、キックオフイベントを実施することで多くの人に協働センターで行われている若者事業について周知することが目的。今までの菊川での取り組みや全体像、菊川市ユースセンター/ユースカウンシル構想、高校との連携、高校内での地域参加の実践、実際に活動に取り組んだ若者からのトークセッションをそれぞれの登壇者が実施した。



菊川まちづくり部 キックオフミーティング

実施日：令和5年3月21日（火）

会 場：菊川市役所庁舎東館3階会議室

参加者：18人（高校生12人、大学生6人、社会人1人）

概 要：ユースカウンスルとしてまちづくり部の活動拠点としてサンカノー（JR菊川駅ロータリ内）を活用し、地域の課題解決や魅力発信などを若者たちが課題と感ずるものをテーマとして取り組んでいく。まちづくり部の運営、意思決定は若者であることが大きな特徴である。対象は高校生、大学生等の15歳～29歳の若者である。また、若者の影響力を高め、若者の意見反映を実現していくための政策提言にも取り組んでいく。キックオフミーティングとして、まちづくり部の目的や概要の説明、参加者同士の交流が行われた。



中高生NPO体験セミナー

市民活動や社会貢献活動への参加啓発として、次世代を担う中高生にNPOの体験の場を提供し、さまざまな社会貢献活動について知ってもらう機会づくりとして、市内のNPO法人の協力を得て開催した。

事前学習会

開催日：令和4年7月16日（土）

会 場：プラザきくる3階会議室

協 力：キーパーソン 21 静岡チーム・湘南チーム、菊川市地域おこし協力隊 大山智世氏

参加者：中学生・高校生49人

概 要：NPO体験セミナーを前に、中高生の参加者がNPO活動への理解促進を図り、自分自身の新たな可能性に気付くきっかけづくり。トークセッションやグループワークを通じて、自分の「わくわくエンジン®」を考え、NPO体験が新たな自分の場となるように、目的

意識をもって参加してもらうために開催した。参加者からは、「進路に悩んでいたが自分のやりたいことが明確になった」などの感想が多く聞かれた。



NPO体験セミナー

開催期間：令和4年7月23日（土）～8月26日（金）

＊期間中、各NPO法人が開催日を設定

会 場：菊川市内各所

参加者：中高生延べ89人

共 催：市内NPO法人13団体

概 要：中高生に社会貢献活動を身近に感じてもらうことを目的に「中高生 NPO 体験セミナー」を市内各地で開催。参加者は外国人の子どもの日本語指導のサポートや災害救助犬の訓練など、環境・福祉・まちづくりやスポーツなどさまざまな分野の活動を体験。また、高校生まちづくりスクールに参加した生徒たちは、体験を通して自身が計画する事業へ生かすことにつながった。



NPO法人訪問

実施期間：令和4年4月15日～6月17日

会 場：NPO法人の各活動場所（事務所）等

対 象：菊川市内NPO法人（19法人）

概 要：市内で活動しているNPO法人の現地を訪問し、現状や課題のヒアリングを行い、各団体の状況把握をするとともに、これからの活動に向けた意見交換や、支援策の紹介を行った。また、夏休みの中高生NPO体験セミナーへの協力を依頼した。毎年度当初に継続的にNPO法人を訪問し、団体の運営や情報発信することで、NPO法人との信頼関係を築いている。



きくせん協働ガイドブック2023発行

概要：多くの市民に市民活動に関心を持ってもらうきっかけづくりや、団体同士や企業との協働促進を図るため、センター登録団体93団体の活動概要や協働事例、企業のCSR活動、協働センターの事業等を1冊にまとめた冊子を更新・発行した。また、ホームページからも閲覧、ダウンロードできる。

掲載団体：93団体、掲載企業：16社 発行部数：300部

配布先：市民協働センター登録団体、菊川市役所関係課、企業、公共機関、高校、視察者等へ配布。



高校との連携 課題解決型キャリア教育 社会人講師の紹介

実施日：令和4年7月2日(金)

会場：静岡県立小笠高等学校

対象者：総合高校1年生 180人

概要：高校が実施する課題解決型キャリア教育「菊川のプロフェッショナルに学ぶ 大人を巻き込む企画作り」の授業を行う社会人講師紹介9人（総合高校・9系列）を紹介。講師は主に人材育成講座修了生など地域で活躍する人が高校生を対象に講話し、高校生たちが地域課題を解決するための企画を考案するためのきっかけづくりをした。



高校との連携 きくがわみらい学講座

実施日：令和4年7月2日(金)

会 場：常葉大学附属菊川高等学校

対象者：高校1年生 約250人

概 要：常葉大学附属菊川高校の「みらい学講座」では、地域の課題を発見して高校生が解決に向けて実践する探求活動を行っている。その一環で、市民協働センターが、市内の高校生が活躍する事例を紹介しながら、自分の思いから地域をつくっていくことの大切さを話した。



菊川市役所庁舎東館「プラザきくる」多目的エリアの運用と賑わい創出

時 期：年間を通して

対 象：市民、市民活動団体、学校、企業、行政等

概 要：菊川市の賑わい創出の核となる庁舎東館「プラザきくる」多目的エリアの柔軟な運用や利用促進を図る。

日常業務

○多目的エリアの運用、利用促進

予約スペース利用延べ875人・フリースペース利用延べ28,284人

多目的エリアは高校生を中心に多くの方に利用されている。

○イベント情報の収集・整理と発信

○イベントの相談・支援

市民・団体の「アイデア」や「やってみたいこと」の実現に向けた相談・支援体制の強化を図った。



○外部人材との連携支援、新たな活動やコンテンツの創出

(長野県の高校生と常葉大菊川高校とのサミット支援・静岡県高校生サミット参加への支援)



○視察の受け入れ 18件

北海道小清水町議会、青森県五戸町議会、茨城県東海村、自治大学（全国の自治体職員）、
尼崎ユースセンター（兵庫県）、NPO法人カタリバ（東京都）、県中東遠議会（4市町）等



スタッフ研修

概要：市民協働センターのスムーズな運営と利用者へのサービス向上を目的に研修会に参加。

- 5月13日 市民協働センター非営利組織のための「持続可能な組織づくりの一步目講座」
- 8月25日 中間支援スタッフ研修「多様な働き方を支える労務について」
- 9月16日 中間支援スタッフ研修 ICT人材育成講座
- 9月24日 中間支援スタッフ研修 「労働者協働組合合法について」
- 10月21日 NPOマッチング交流会
- 11月19日 「未来への教室」への参加
- 11月20日 小規模多機能自治フォーラムへ参加
- 12月19日 中間支援スタッフ研修「ICT教材育成講座」
- 1月19日 NPO法人事務講座登記手続き
- 1月24日 財務分析×インボイス実務セミナー
- 1月24日 中間支援スタッフ研修「中間支援の役割」
- 1月27日 中間支援スタッフ研修「ICT人材育成講座」
- 1月29日 牧之原市主催 ファシリテーション講座
- 2月11日 ユースワーカー協議会主催 ユースワーカー講座
- 2月12日 ユースワーカーフォーラムへの参加
- 2月18日 ユースワーカー協議会主催 ユースワーカー講座
- 2月26日 牧之原市主催 ファシリテーション講座

菊川市賑わいづくり創出事業への協力

実施期間：年間を通じて

概要：菊川市賑わいづくり研究会への参加（隔月1回）し、産学官民金の関係者との情報共有することで様々な取り組みのきっかけとしている。
また、きくがわ未来会議（きくがわ未来塾OB団体）、市民活動団体との調整等を行うことで、きくがわ未来会議「きくがわ魅力たっぷりツアー」開催につなげている。



その他協働推進に関する業務

菊川市協働推進委員会への出席

実施日：令和4年7月29日（火）・12月16日（金）

会場：菊川市役所東館プラザきくる

概要：「菊川市協働の指針」に基づく、施策の実施内容及び仁直状況の評価等

菊川市庁内協働ワーキンググループへの協力(講師)

実施日：令和4年7月12日（火）、令和5年3月3日（金）

会場：菊川市役所東館プラザきくる

参加者：菊川市職員 25人×2回

概要：市が主催で行っている事業への協力。

協働事例や協働手法の共有

市民協働センターの事例紹介 等



菊川市地域づくり活動交付金事業 審査会、報告会への協力

実施日：令和4年12月3日（土）

令和5年3月18日（土）

会場：菊川市役所東館プラザきくる会議室、多目的エリア

概要：発表団体のサポート、当日の運営補助



企業、行政共同研修 カードゲーム「SDGs de 地方創生」

開催日：12月1日（木）

会 場：プラザきくろ3階会議室

講 師：小杉普也氏 SDG s 公認ファシリテーター/常葉大学附属菊川高校教諭

協 力：常葉大学附属菊川高校 三宅教諭、中川教諭

参加者：企業15人、行政15人

概 要：SDG sを通じた地方創生について、行政と企業の異なる分野を互いに理解しながらSDG sの考え方を地域活性化に生かし、地方創生を実現するについて参加者全員が対話し考える機会となった。



菊川市1%地域づくり活動交付金事業

ソーシャルビジネスセミナー

内 容：社会課題をビジネスの手法で解決するための講座。事前に相談会を開催することで受講者がより問題意識を高め、講座を通してソーシャルビジネスの実践につなげるための手法を様々な側面から学んだ。

場 所：プラザきくろ2階多目的エリア
市民協働センターミーティングスペース

講 師：NPO未来化プロジェクト 川端務夢氏（メイン講師）

第1．3．7回：NPO未来化プロジェクト 代表 佐藤和江氏

第4回：アップル税理士事務所 代表 杉山重人税理士

第5回：協力（一財）野ノ編集室 代表 工藤大貴氏

開催日、主な内容

- ・第1回：9月30日(金) ガイダンスとソーシャルビジネスの概論
- ・第2回：10月7日(金) ソーシャルビジネスにおけるマーケティング
- ・第3回：10月14日(金) 経営に欠かせない思考方法(6色の思考術)
- ・第4回：10月21日(金) 会計基礎講座と資金調達の方法
- ・第5回：10月23日(日) フィールドワーク、課題解決のためのワークショップ
- ・第6回：11月4日(金) 各自の事業構想を討論しブラッシュアップ
- ・第7回：11月18日(金) 事業構想プレゼンテーション

参加人数：10人

ソーシャルビジネス相談会

- ・事前個別相談会 9月15日(木)・16日(金) 全11回
- ・講座期間中個別相談会(全10回)
- ・事後相談会:受講生の希望でプランが軌道に乗るまで随時伴走。



②御前崎市地域協働支援アドバイザー

市民活動団体相談対応日常相談

実施期間：年間を通して

会 場：御前崎市役所、菊川市市民協働センター

概 要：マッチング支援、団体運営、情報発信等

市民活動スキルアップ講座

第1回 御前崎未来ゼミ「動き動かす世代の社会貢献！地域に踏み出す第一歩～

開催日：令和4年11月14日(月)

会 場：御前崎市池新田地区センター

講 師：NPO法人アースコミュニケーション 代表理事 川口眞矢氏

NPO法人うまのあと 理事長 小林雅幸氏

Team4 3 9 代表 宇佐美竜一氏

参加者：12人

概 要：働く世代の3人(37歳・38歳・45歳)が地域で活動を始めたきっかけや取り組みについて発表。後半は3人のトークセッションをコーディネート。若い世代が自主的に地域に一步踏み出し、新たな発見や人との出会いなど様々な体験をしていることを伝

えることで、地域に関わり活動しようと感じてもらい、受講者が地域に一步を踏み出すきっかけづくりとした。



第2回「ワクワク！コミュニティ活動～楽しい体験談～」

開催日：令和4年11月25日（月）

会 場：御前崎市研修センター

講 師：鈴木久雄氏 NPO法人リアル野球盤協会 理事長、金谷コミュニティ委員会

参加者：23人

概 要：大井川鉄道の無人駅「合格駅(旧五和駅)など、講師が定年後に取り組んだコミュニティ活動やきっかけを紹介。楽しみながら多世代交流するためのヒントから、地域づくりや協働の重要性を学ぶ機会となった。



中高生NPO活動体験プログラム

概 要：NPO法人と連携し、中高生を対象にした人材育成講座を実施した。

①子どもと学ぶ男女共同参画における防災講演会及び防災減災講座)

開催日：令和4年9月24日（土）、9月25日（日）

場 所：御前崎市市民会館

協 力：NPO法人御前崎災害支援ネットワーク

参加者：中高生6人

概 要：中高生は防災講演会・防災減災講座に参加し、市民会館でNPOの会員と一緒に参加者の受付やホールでは講演会の司会など運営サポートを体験した。



②日本語教室の授業サポート

開催日：令和4年10月2日（日）、10月23日（日）

場 所：研修センター2階 大会議室

協 力：NPO法人はまおか日本語教室

参加者：中高生5人



概 要：中高生は、外国籍住民の方に日本語を教える授業のサポートを通じ、お互いの文化や言葉を教え合い、交流を楽しんだ。参加した中高生からは「コミュニケーションの大切さを改めて感じた」「理解してくれて教えた側もうれしかった」などの感想が聞かれた。

③久々生海岸里海プロジェクト～ビーチクリーン

開催日：令和4年10月8日（日）

場 所：久々生海岸

協 力：NPO法人アースコミュニケーション

参加者：中高生5人

概 要：県指定の準絶滅危惧種のコアモなどが自生する海岸で環境の保全活動の一環。

中高生は小笠南地区労福協、ろうきん小笠支店、御前崎港湾関係者などと一緒に大量の漂着ゴミを拾ったり立木を細かく切ったりした。中高生は、地域の豊かな自然や文化に触れ、御前崎市の魅力を感じる機会にもなった。



④ECLABO

開催日：令和4年11月23日（水・祝）

場 所：あらさわふる里公園

参加者：高校生2人+高校生スタッフ2人

概 要：「ECLABO」は、御前崎クエストキッズプログラム（小学生対象の社会教育プログラム）に併せて実施したプログラム。

11月20日、事前学習会を開催し、高校生は子どもたちのための活動を展開できるよう活動指導にあたる「指導者の心得」などを学んだ。

高校生と小学生と一緒に里山散策し、クリスマスリースにする素材の葛のつたを集めた。その後高校生は、子どもたちにリースの土台づくりや飾りつけを教えるなど、事前研修で得た指導者の心得をもとに子どもたちの活動をサポートした。



御前崎市役所 職員研修

実施日：令和4年9月28日（水）

会 場：御前崎市役所 301会議室

参加者：18人 係長級職員4人 新規採用職員5人 その他職員9人

講 師：菊川市役所地域支援課 岡田祐三氏

NPO法人アートコラールきくがわ 理事長 笠原活世

概 要：「協働のまちづくりを知ろう」をテーマに、講義を通して協働の基本や基礎知識の習得と市民協働の考え方や必要性、協働を進めるコツについて、菊川市や当NPOの事例を交えながら伝えた。後半のワークショップでは協働に関する講義を聞いて、各グループで協働を進めていくうえでの重要なポイントとなることを発表した。



ホームページ御前崎市市民活動情報ネットの管理

実施日：毎月15日と月末に更新（毎月2回）

概 要：ホームページ管理と更新。市民活動団体の紹介やイベント告知や活動報告等



その他事業

静岡県コミュニティづくり推進協議会 推進専門委員

概 要：コミュニティ活動を推進する団体やグループに対してアドバイス等を行う。

- ①10月15日（土）地域づくりに携わる人を対象にした「コミュニティカレッジ」において、地域活動のコツについて講義した。
- ②11月22日（火） コミュニティ活動集団育成事業の一環として、指定団体NPO法人わたぼうしランドデザインから、現状課題ヒアリング、アドバイスをを行った。



島田市協働のまちづくり推進事業審査委員会へ出席

日 程：令和4年5月30日（日）
会 場：プラザおおるり多目的室

(2)芸術文化支援事業

①菊川市1%地域づくり活動交付金事業

まち×ひと×アートプロジェクト

人と人をつなぎ、誰もが気軽に参加できるアートイベントで心豊かな地域の創造、また次世代を担う若者が社会貢献に関心を高め、まちづくりに参加できる機会を積極的に作った。

きくがわ灯りの散歩道ONハロウィーン

日 時：10月29日（土）

会 場・出展内容：

きくる広場 「竹灯籠ライトアップ」
プラザきくる多目的ホール 「キクツクハロウィーンワークショップ」
菊川駅前通り商店街 「イルミネーション」
菊川赤レンガ倉庫 「ハッピーハロウィーン」
ブンカ拠点みる フェイスペイント、シールタトゥ
Nimus「キッチンカーの販売」

参加者：来場者約1,000人

概 要：竹灯籠のライトアップに加え、ハロウィーンイベントを実施。当NP0は、市民、市民活動団体や学校、企業等への調整を図ることで、東館を核とした賑わい創出につなげた。竹灯籠づくりのワークショップは主に市民活動団体たねあかりの協力で実施した。ハロウィーン全般は共催の2団体と打ち合わせをしながら、2団体が企画・運営した。



竹灯籠づくりのワークショップを実施

講師は市民活動団体たねあかり、当NP0が学校・団体等の調整スタッフとして参加。

①小笠高校 9月2日、16日、23日 参加者各回22人

- ②虹の架け橋菊川小笠教室 10月7日 参加者20人（小学生と教員）
- ③シイ・ソヒゾ・デ・クリアンサブrazil人学校 10月15日 参加者18人
- ④地元子ども会と子ども文化センター 10月17日 参加者16人（小学生親子）
- ⑤菊川市商工会女性部 10月27日 参加者5人



みんなのアソビバ&小さな収穫祭

開催日：令和4年11月3日(木・祝)

会 場：きくる広場・プラザきくる

参加者：子育て世代の親子など約500人

スタッフ：高校生約100人・大人15人

概 要：常葉大菊川高校美術・デザイン科と小笠高校の市内2校がコラボレーションし、地域の人や子どもたちが楽しめる企画を実施するための企画や調整を行った。

高校生たちは、地域の子どもたちに向けてアートをモチーフにしたアソビ12ブースを用意。また、生徒が考案した食料品や地元の新鮮な農産物、福祉施設とコラボした限定パンの販売を行った。



絵本×プロジェクションマッピング×高校生

プロジェクションマッピング

日 時：3月17日(金)

会 場：菊川赤レンガ倉庫

参加者：約200人

概 要：きくがわ高校生まちづくりスクール修了生の掛川工業高校3年小澤陸空君(菊川市嶺田在住)が、京アニ事件で亡くなった菊川出身で高校の先輩にあたる大村ゆうきさんの絵本「どっくんどっくん」を原作のプロジェクションマッピングに挑戦し、上映した。製作期間はおよそ1年。発案から実行までのサポートを行うことで若者が地域活動を通して成長していく過程をともに実感した。



絵本どっくんどっくん原画展

期 間：3月12日(日)～17日(金)

会 場：菊川赤レンガ倉庫

入場者：延べ153名

スタッフ：高校生まちづくりスクールのOBの高校生や大学生とNPO法人菊川まちいきの会員

概 要：プロジェクションマッピングの題材である絵本「どっくんどっくん」の原画17枚を展示。原画は大村ゆうきさんのご家族が提供してくれた。やなぎ文庫による来場者に絵本の読み聞かせも実施した。



(3)まちづくりネットワーク事業

①交流促進事業業務委託事業

茶畑の中心で愛を叫ぶ(菊川チャバチュー)

開催日：令和4年10月2日(日)

会 場：菊川中央公園

主 催：菊川チャバチュー実行委員会・菊川市

企画・運営：NPO法人アートコラールきくがわ

協 力：日本愛妻家協会、常葉大学附属菊川高校美術・デザイン科

実行委員会：5月30日(月)、7月11日(月)、

サポーター会議：7月20日(水)、8月5日(水)、8月26日(金)、9月9日(金)、
10月12日(水)

スタッフ：市関係部署や茶業協会、実行委員会、サポーター会議のメンバー等約30人

参加者：叫ぶ人17組42人、聞く人約100人

概 要：イベント開催当日は、個人で叫ぶ子どもや大人、高校生や、ろうあ者と手話通訳、茶娘、菊川警察署員、市役所新採職員、(社福)草笛の会などが、心の中にある感謝の気持ちや大好きな思いを茶畑に向けて大きな声で叫んだ。



群馬県嬬恋村現地視察

日 時：令和4年9月4日(日)

会 場：群馬県吾妻郡嬬恋村

参加者：サポーター5名

概 要：実際のイベントの様子を体感し当日の運営に活かすため、群馬県嬬恋村「キャベツ畑の中心で愛を叫ぶ」を現地視察。当日の運営の方法を現地で学び、その後嬬恋村の職員からアドバイスをもらうことにつながった。



プレイベント「きくがわジュニアアート教室」

日 時： 9月18日（日） 9：00～12：00

会 場：プラザきくろ 1階町部地区センター

参加者：常葉大学附属菊川高校美術・デザイン科47人、教員 3 人、市内在住の小学生24人

概 要：当NPOと常葉大学附属菊川高校美術デザイン科が協働で毎年市内小学生を対象にジュニアアート教室を開催。今回は、交流イベント「茶畑の中心で愛を叫ぶ！」にあわせて、「茶畑にアートを！」をテーマに、会場の看板・装飾やグッズを制作した。



全国わかもののまちサミット2022@京都

開催日：令和4年11月6日（日）

会 場：京都市中央青少年活動センター

概 要：NPO法人わかもののまちが主催する「全国わかものサミット分科会2022」にてモデレーターとして登壇。若者参画に関する活動が活性化している中で、若者の活動を支えるユースワーカー（活動の支援を通じて若者の成長を支える人材）として、菊川市の事例を紹介。その後、分科会参加者との議論を通して、程よい若者と大人のパートナーシップのあり方を検討した。全体会では令和5年度菊川市で開催することの紹介があり、挨拶をした。



牧之原市地域リーダー育成プロジェクト講師

実施日：令和5年1月25日(水)

会 場：相良総合センター「い〜ら」

参加者：相良高校、榛原高校の生徒 約30人

概 要：牧之原市主催の高校生を対象にした「地域リーダー育成プロジェクト」に講師として招かれた。前半は菊川市の高校生が活躍する事例を紹介しながら、自分の思いから地域をつくっていくことの大切さを話した。後半はチームプロジェクトを成功するためのコツなどを伝え、その学びを深めるために高校生たちにマシュマロチャレンジを体験してもらった。



その他

- 菊川市協働の指針推進委員
- 菊川市賑わいづくり研究会委員
- 御前崎市協働の指針策定協議会委員